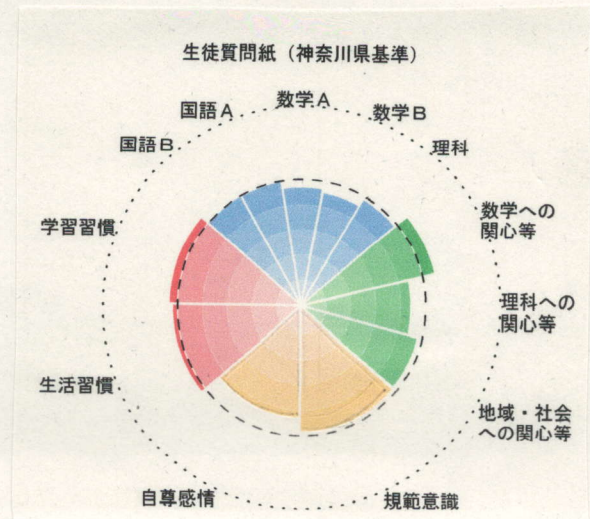
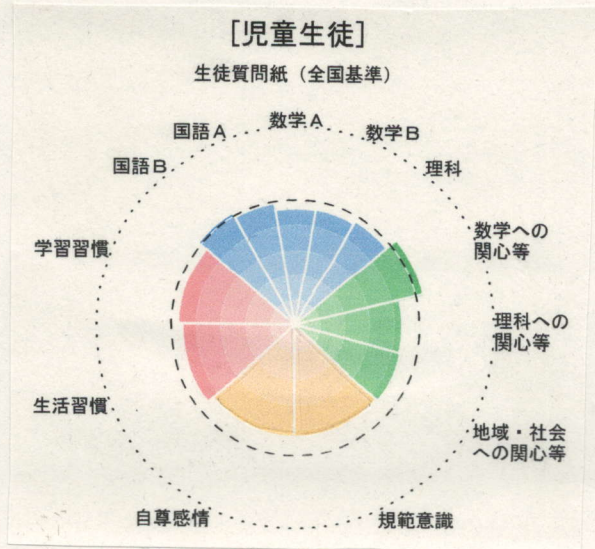


【3年生全国学力・学習状況調査＝結果と分析＝】

今年4月17日(火)に行われた全国学力・学習状況調査の結果が8月下旬に届きました。生徒個人には10月5日結果をお渡ししました。

学校全体の結果分析を次にご紹介させていただきます。

《全国学力・学習状況調査チャート》



《本校の学力の傾向と考察》

- ・国語では、昨年度に引き続き、授業に対する意欲・意識が高く、目的をもって授業に臨む生徒が平均を上回っていた。学力面では、全国平均とほとんど変わらない数値を示しており、日々の学習の成果が出ていると考えられる。特に、「読む」「話す・聞く」に関する設問では、全国の平均を上回っていた。一方で、「言語についての知識・理解」「書く」設問では、若干下回っていた。「書く」では、複数の資料などから読み取ったことを文章でまとめるなどの力が十分ではないことがわかった。今後以下のことに取り組んでいきたい。
 - ① 漢字テストを継続、基礎基本のさらなる定着を図ると同時に語句の知識の定着をめざす。
 - ② 「書く」機会を増やし、主語と述語の関係や誤字脱字を細かく指導していく。
 - ③ 複数の資料などから読み取り、それをまとめる力を身に付けさせる授業を増やしていく。
- ・数学では、A、B共に全国平均をやや下回る結果であった。しかし、「数学の勉強は好きで大切だと思っている」生徒の割合が全国平均を上回っており、関心は高い。従って授業への意欲は高く、問題の解き方、考え方が分かるようにノートに書けている。領域ごとの正答率では、A「資料の整理」、B「関数」が全国平均を上回った。今後も生徒の意欲を大切にした主体的で分かる授業を充実させていきたい。
- ・理科では、全国平均をやや下回る結果であった。その中でも知識・理解と観察・実験の技能、記述式の問題に課題があることが分かった。しかし、学習意欲は平均を超えており、この傾向は小学校時より続いていて「理科の勉強をすれば、自分自身の生活や社会に出て役立つ。」と答える生徒は上回っている。そこで具体策としては、全単元において観察・実験を重視すると共に「教師の丁寧な説明」→「課題の設定」→「自分の考えをまとめる」→「自分の考えを発表する」→「友達の考えを聞く(必要に応じて教師が話し合いに参加する)」→「自分の考えを深める」という活動を繰り返し行っていきたい。